

作成日: 2007年12月5日
改訂日: 年 月 日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 粉末樹脂入り 床用うすぬり
会社名 株式会社 豊 運
住所 大阪市東住吉区今川 3-12-4
担当部門 品質管理本部
担当者(作成者) 岸本 美津男
電話番号 06-6708-8132 FAX番号 06-6708-8133
製品コード
緊急連絡先 東日本営業部 福島県石川郡平田村大字西山字水尾111-3 TEL:0247-54-3232
大阪営業部 大阪市東住吉区今川3-12-4 TEL:06-6708-8131
岡山営業部 岡山県勝田郡勝央町太平台21 TEL:0868-38-4001
京都営業課 京都府船井郡京丹波町質美広野二ノ切31 TEL:0771-86-0711
整理番号 C-175

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分 混合物
化学物質等の危険有害性成分

成分名	CasNo	濃度又は範囲 (%) *1	安衛法情報 *2	PRTR情報 *3	毒劇法情報
普通ポルトランドセメント	65997-15-1	50~60	No.312&No.190		
炭酸カルシウム	471-34-1	40~50			
粉末樹脂	既存	1~5			
その他(合成樹脂糊)	-	1以下			

注 1) 数値に*印を付したものは、製品グループにおける最大値。
注 2) 労働安全衛生法第57条の2に関わる施行令別表第9の通知対象物質に該当する「号の番号」
注 3) PRTR法施行令別表第一及び第二の通知対象物質に該当する「号の番号」

- ・労働安全衛生法第57条の2第1項の通知対象物:No.312(シカ)及びNo.190(酸化カルシウム)を1%程度含有する可能性がある。
- ・特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化学物質管理促進法)の第1種指定化学物質及び第2種指定化学物質には該当しない。※アスベストに類する物質は含まない。
- ・国連の基準で評価して、評価物に該当しない。
- ・化学物質等の危険有害性等の表示に関する指針別表の分類基準に該当しない。
※厚生労働省指針値14物質(アセトアルデヒド・フタル酸ジ-n-ブチル・p-ジクロロベンゼン・エチルベンゼン・ホルムアルデヒド・n-ノナール・スチレン・テトラカン・トルエン・キシレン・クロロピリホス・フェノカルブ・フタル酸ジ-2-エチルヘキシル・ダイアジン)は含まない。
- ・日本建築仕上材工業会認定ホルムアルデヒドの放散等級自主制度(F☆☆☆☆マーク)
登録番号: 0804043 区 分: F☆☆☆☆

3. 危険有害性の要約

最重要危険有害性:

人の健康に対する有害な影響:

- ・水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(PH12~13)を呈し、目、鼻、皮膚に対し刺激があり、目の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起す可能性がある。飲み込むと、喉を刺激する。
- ・極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。
- ・多量に長時間吸引すると「じん肺」になる恐れがある。

特定の危険有害性: 情報なし

4. 応急措置

- 吸引した場合: 速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳などが治まらなければ医療処置を受ける。
- 皮膚に付着した場合: 速やかに多量の水及び石鹸で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。
- 目に入った場合: 速やかに清浄な水で最低15分間洗眼した後、医療処置を受ける。
- 飲み込んだ場合: 速やかに医療処置を受ける。

5. 火災時の処置

- 消火剤: 不燃物であり、製品に特定の消火剤はない。
- 火災時の特定危険有害性: 注水により高いアルカリ性の溶液が、流出する恐れがある。
- 消火方法: 不燃物であるが、周辺の火災時は一般火災の消火方法による。注水時は飛散防止に配慮する。

6. 漏出時の措置

漏出時には、できるだけ粉体の状態で回収する。

人体に対する注意事項:

環境に対する注意事項:

- ・回収作業には、手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスクの保護具を着用する。
- ・粉塵が飛散しないようにする。
- ・漏出した製品が河川などに排出され、環境中の生物や水質に影響を及ぼさないように注意する。濃厚な洗浄水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとる。
- ・漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒などにより、出来るだけ粉体の状態で回収し廃棄まで容器で保管する。やむをえず、床面などに残ったものは水で洗浄する。洗浄水は回収し中和処理などにより適切に処理する。
- ・回収物や回収した洗浄水は、13項の廃棄上の注意に従い、廃棄又は排水する。

回収、中和除去方法:

7. 取扱い及び保管状の注意

取扱い:

技術的対策

取扱者の暴露防止:

- ・目、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具(手袋、長靴、保護メガネ、防塵マスク等)を着用する。
- ・換気に注意する。
- ・取扱い後は、顔、手、口などを水洗する。
- ・破袋などにつながるような粗暴な取扱いをしない。
- ・水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(PH12~13)を呈し、目や皮膚を刺激する。

注意事項

安全取扱い注意事項

保管:

技術的対策

保管条件

適切な保管条件:

該当しない

- ・セメントと同様の扱いとし、乾燥した場所にパレットなどを敷き、床面より離して保管する。できるだけ粉塵がたたないようにする。

避けるべき保管条件:

混触禁止物質との分離:

推奨する安全な容器包装材料:

該当しない

水との接触の恐れのない場所に貯蔵すること。

防湿性のある容器・包装

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策:

- ・室内で取扱う場合は、管理濃度以下にするために十分な能力を有する換気装置を備える。
- ・多量に取扱う場合は、集塵機を設置する。

許容濃度:

管理濃度

(労働安全衛生法・作業環境評価基準) 2.9mg/m³
(ポルドラントセメントは 2.0mg/m³)

日本産業衛生学会

第2種粉塵

吸入性粉塵 1mg/m³

総粉塵 4mg/m³

保護具:

呼吸器用の保護具

手の保護具

目の保護具

皮膚及び身体の保護具

適切な衛生対策

防塵マスク

保護手袋(ゴム製)

保護メガネ

長靴、保護衣

該当しない

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状:

色:

臭い:

PH:

粉末

灰白色

無臭

水と接触すると12~13

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

データなし

溶解性

溶媒に対する溶解性

その他のデータ

水に難溶

爆発性なし 水硬性

10. 安定性及び反応性

安定性:

反応性:

避けるべき条件:

危険有害な分解生成物:

その他:

通常の取扱いにおいては、安定であり危険性はない。水と反応して安定固化する。

水硬性

該当しない

避けるべき材料: 該当しない

該当しない

該当しない

11. 有害性情報

急性毒性:	情報なし
局所効果:	・水と接触すると水酸化カルシウムを生じ、アルカリ性(PH12~13)を呈し、目や皮膚を刺激する。 ・長期間付着した状態では、皮膚に炎症を起こす可能性がある。
慢性毒性・長期毒性:	多量に長時間吸入すると「じん肺」になる恐れがある。
がん原性:	情報なし
異変原性:	情報なし
催奇形性:	情報なし
生殖毒性:	情報なし
その他:	情報なし

12. 環境影響情報

環境影響:	接触水はアルカリ性(PH12~13)を呈するから、環境に影響を及ぼさないように注意する。
生態蓄積性:	情報なし

13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物:
- ・固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。
 - ・洗浄水などの排水は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に適合するように十分留意しなければならない。
 - ・産業廃棄物管理表(マニフェスト)を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。
- 汚染容器・包装・空容器・包装を廃棄する場合
- ・内容物を完全に除去した後に、産業廃棄物として処分する。
 - ・都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

14. 輸送上の注意

輸送に関する規制及び分類に関する情報

陸上:	・消防法、労働安全衛生法、毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
海上:	・船舶安全法に定めるところに従うこと。
航空:	・航空法に定めるところに従うこと。
国連番号:	

輸送の特定の安全対策及び条件:

- ・粉塵のたたない方法で輸送する。
- ・破袋、損傷、容器・包装からの漏れ、転倒・落下などの荷崩れ防止を確実にを行う。
- ・湿気、水濡れに注意する。

15. 適用法令

- ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律
- ・労働安全衛生法(粉塵障害防止規則)
- ・労働安全衛生法(法第57条の2項(令第18条の2別表第9)名称等を通知物質No.312(シリカ))
- ・労働安全衛生法(法第57条の2項(令第18条の2別表第9)名称等を通知物質No.190(酸化カルシウム))
- ・じん肺法
- ・毒物及び劇物取締法
- ・消防法: 該当しない
- ・船舶安全法: 非危険物
- ・航空法: 該当しない。
- ・労働安全衛生法施行令: 該当しない。
- ・化学物質管理促進法(PRTR法): 別表1-4危険物に該当しない
- ・特定化学物質等障害予防規則: 該当しない

16. その他の情報

特になし

本データシートは、JIS Z 7250:2000「化学物質等安全データシート(MSDS)―第一部:内容及び項目の順序」に準じて作成しており、製品の安全な取扱いを確保するための「参考情報」として、現時点で当社の有する情報を取扱事業者にご提供するものです。

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成しましたので、新しい知見により改訂されることがあります。

本データシートは、必ずしも製品の安全性を保証するものではなく、当社が知見を有さない危険性、有害性の可能性がありますので、取扱事業者は、これを参考として個々の取扱い、用途、用法等の実体に応じた安全対策を実施の上、お取扱い願います。